

南陽地域の農業

市内最大の水田地帯で、毎年「田んぼアート」も行われています。

そのため、米作りのイメージが強い南陽の農業ですが、

大消費地である名古屋市内という

強みを活かして、さまざまな野菜が
栽培・出荷されています。

中でも、とうもろこしは、収穫後時間の

経過とともに甘みが低下するため、

消費地直結を生かした商品となっています。



愛知県立南陽高等学校 Nanyo Company部



部活動として、地域貢献を目的として、

フェアトレード・カーボンオフセット・

アップサイクルなどに取り組んでいます。

いま、力をいれているのが、SDGsのなかの

目標12「つくる責任 つかう責任」に着目した

規格外野菜の有効活用です。

今回は、地元の農産物を使った
レシピを考えました。

これまでの様々な活動が評価され、
令和5年度には農林水産省東海農政局の
ディスカバー農山漁村(むら)の宝
コミュニティ・地産地消部門に
選定されました。

